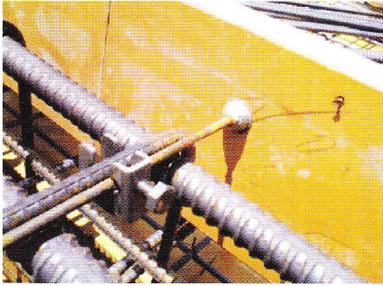
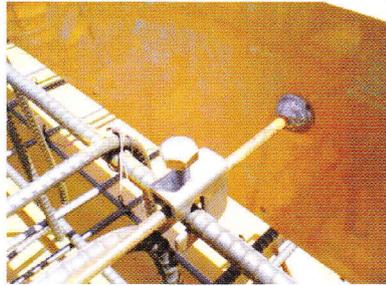


型枠大工さん必見！ 溶接いらずの万能金物



① D13とセバの平行締付け



② D13とセバの直行締付け



③ 単独使用での浮かし



④鉄骨等からのセバ引



⑤スーパーアンカーの固定



⑥D10を利用した浮かし



⑦D13を利用した浮かし

6通り以上の組み合わせを簡単ロックの



(商品名)

特許第4332216号

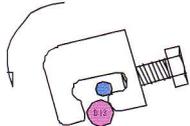
※ あなただけで他にも使い方はいろいろ

※ 用途

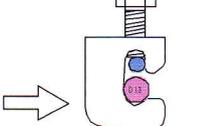
土止め型枠、スラブ段差型枠、PCスラブからのスラブ引き
段差型枠の浮かし、鉄骨等からのセバ引き、フラットバー等の固定等

※ 取付け方法（平行締付け時）

鉄筋に回し入れる

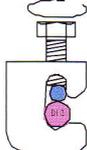


①セパレーターにヒッカケて
回しながら鉄筋をはめ込む



②鉄筋を奥まではめ込む

ボルト締付け



③ボルトを締付けて完了
(ボルト締付けトルク2.0N・m程度)

※ 注意事項

鉄筋D10とセバの平行締付け及びセバ同士の平行締付け時は、
上部材がA部から外れる恐れがある為
図1、図2の様に上部セバを奥面に着けて締付けてください。

ボルトの締め過ぎによる金物自体の変形により
所定の強度が得られない場合がある為
締付けトルクは、2.0N・m程度で行って下さい。

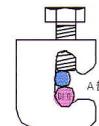


図1
(鉄筋D10とセバとの平行締付け)

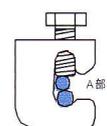
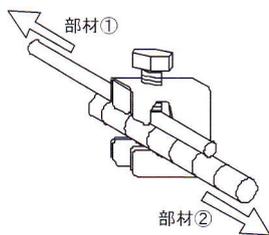


図2
(セバ同士の平行締付け)



平行締付け時の引張荷重		大東鋼業株式会社 調べ	近畿高エネルギー加工技術研究所 調べ	※ 1	(参考) セバ端部のネジ部での締付け
部材①	部材②	最大引張荷重(N)	最大引張荷重(N)	許容引張荷重(N)	最大引張荷重(N)
セバ W5/16	セバ W5/16	—	1,809 (184kgf)	1,628 (166kgf)	—
セバ W5/16	鉄筋 D10	3,150 (321kgf)	3,000 (306kgf)	2,700 (275kgf)	5,293 (539kgf)
セバ W5/16	鉄筋 D13	3,250 (331kgf)	3,137 (319kgf)	2,823 (287kgf)	6,206 (632kgf)
鉄筋 D10	鉄筋 D10	8,350 (851kgf)	8,312 (847kgf)	7,480 (762kgf)	—
鉄筋 D10	鉄筋 D13	10,700 (1090kgf)	10,106 (1030kgf)	9,095 (927kgf)	—

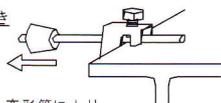
※ 1 許容引張荷重は、安全面を考慮して 2箇所の試験場で引張試験を行い、その小さい方の数値に、0.9を乗じた値にしています。

※ 参考資料

鉄骨等から直行引き
(近畿高エネルギー加工技術研究所 調べ)

最大引張荷重(N) 3,471 (354kgf)

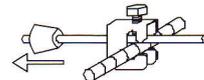
※ 鉄骨等からのセバ引き荷重は、塗装、汚れ、変形等により異なりますので、それらを踏まえて判断して下さい。



D13から直行引き

最大引張荷重(N) 1,728 (176kgf)

※ 鉄骨等からの直行引き荷重は、鉄筋径及び引張方向により異なりますので、それらを踏まえて判断して下さい。



※ 現在の金物は、D13、D10兼用タイプです。その他のサイズは検討中です御了承下さい。

